気候町民会議inみのわ
進め方

気候町民会議inみのわ　第1回

2025年5月31日

全３回の進行をつとめます

茅野 恒秀（ちの つねひで）

1978年8月、東京都練馬区生まれ。松本市在住。
環境社会学を専門とする研究者。
父の故郷は霧ヶ峰麓→信州の田舎へよく帰省する少年時代。

20代　大学・大学院で学びながら自然保護団体に勤め
30代前半　岩手県立大学准教授：東日本大震災の復興
30代後半～40代中盤　父祖の地　信州大学人文学部准教授
2025年～　母校　法政大学社会学部教授に就任
　　信州大学特任教授も兼務

長野県環境審議会地球温暖化対策専門委員
安曇野市里山再生計画推進協議会長
日本自然保護協会　評議員
NPO法人芸術と遊び創造協会　理事
松本市上高地保存活用調整検討会議　委員
自然エネルギー信州ネット理事　　などを務める

（諏訪市四賀が父の故郷
左の写真は1980年御柱祭）

気候市民会議とは？

➢だれが？

社会の縮図となるように無作為に選ばれた数十人～百数十人の参加者が

➢どのように？

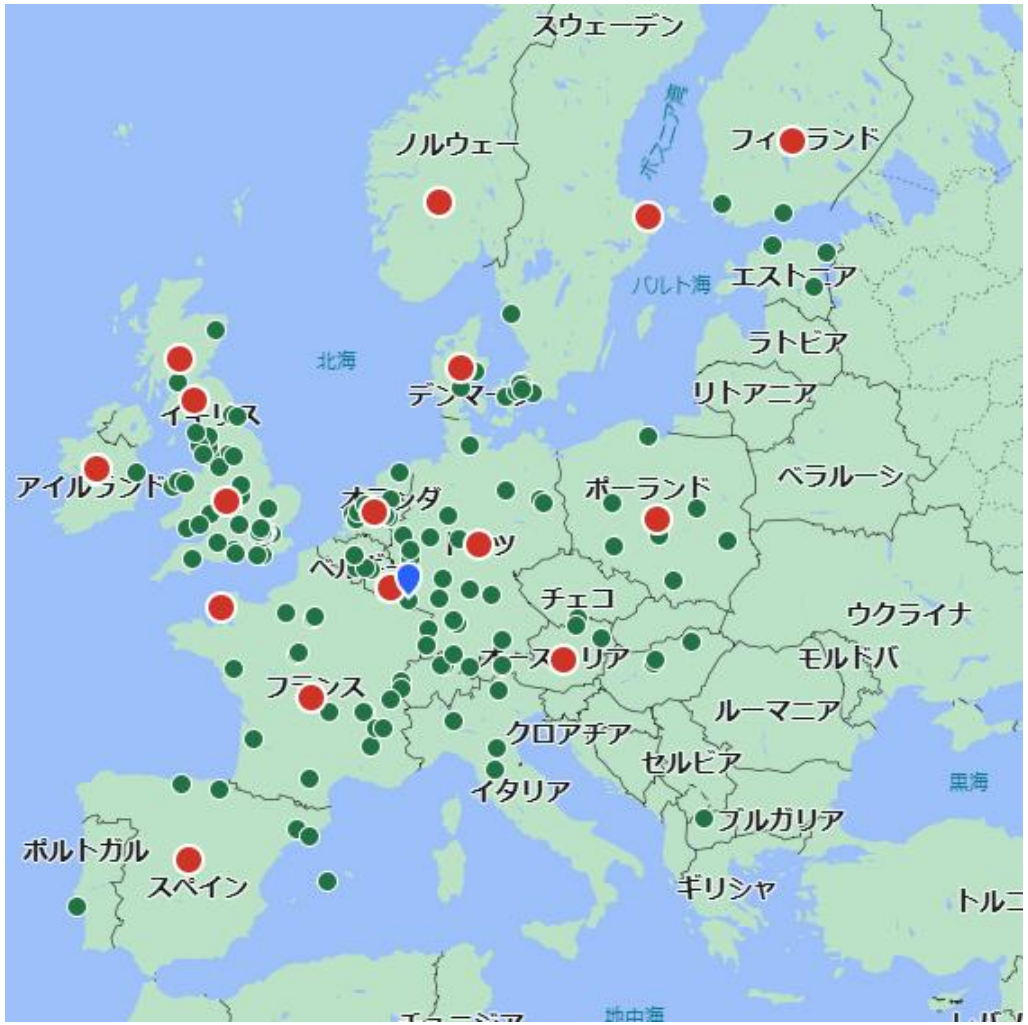
バランスのとれた情報提供を受けて、参加者主体でじっくりと議論（熟議）し

➢何をする？

議論の結果を提言などの形でとりまとめる

➢何のために？

とりまとめた結果は、脱炭素社会の実現に向けた効果的な政策・対策を生み出すために活用する



※1970年代から複雑な社会課題の解決方法を話し合う「ミニ・パブリックス」の取り組み。
※2019年以降、欧州を中心に国と自治体の双方で気候市民会議(Climate Assembly)が多数展開。

出典：KNOCAウェブサイト
https://knoca.eu/map-of-national-assemblies/

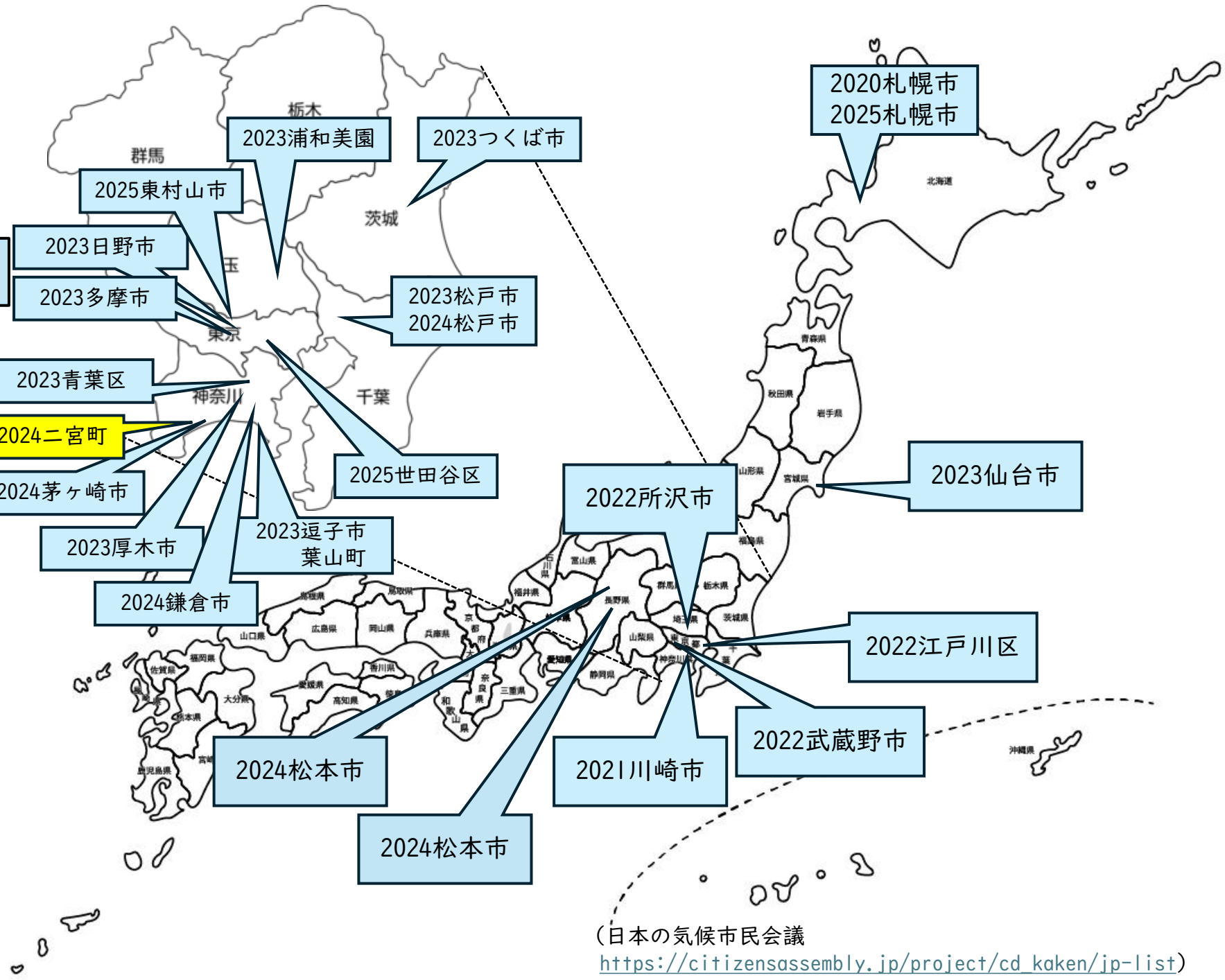
箕輪町での開催は
全国で25例目
（23自治体目）

①長野県で２例目！

②町単独での開催は
全国で２例目！

③日本で最も高い開催地！

※松本市役所　592m
箕輪町役場　705m



（日本の気候市民会議
https://citizensassembly.jp/project/cd_kaken/jp-list）

気候町民会議 in みのわ

箕輪町発足70周年の節目を迎え、地球温暖化がもたらす気候変動について、私たち1人ひとりができることや、どのように推進していくべきかなどを、町民の皆様と考える。

信州大学生などを交えて一緒に「ゼロカーボン」や「持続可能な町づくり」をどのように実現していくか、町民目線での取組を議論していきます。

箕輪町民
16歳～70歳の方

2000名

無作為抽出
（くじ引き）

参加表明
をくださった方

30名

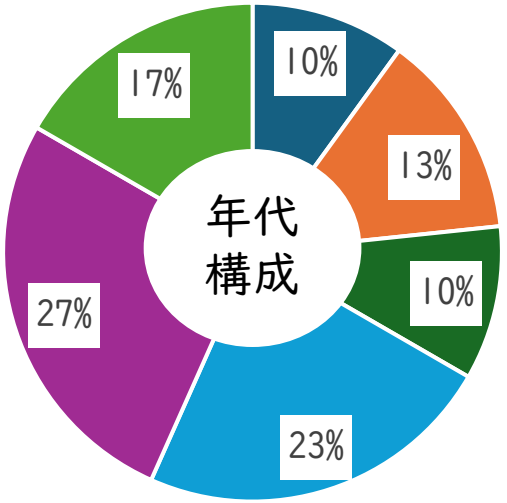
＋

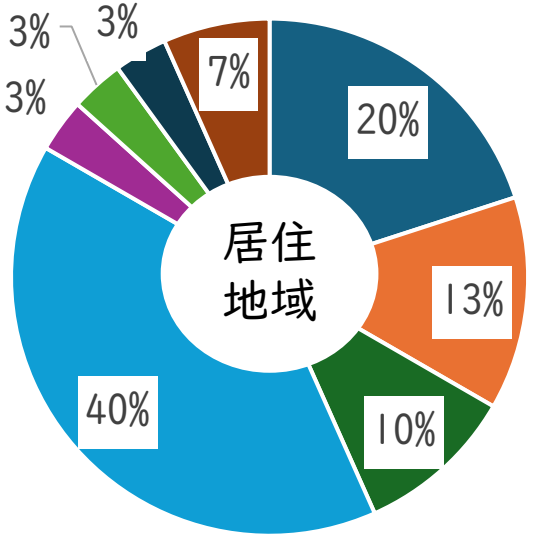
信州大学生

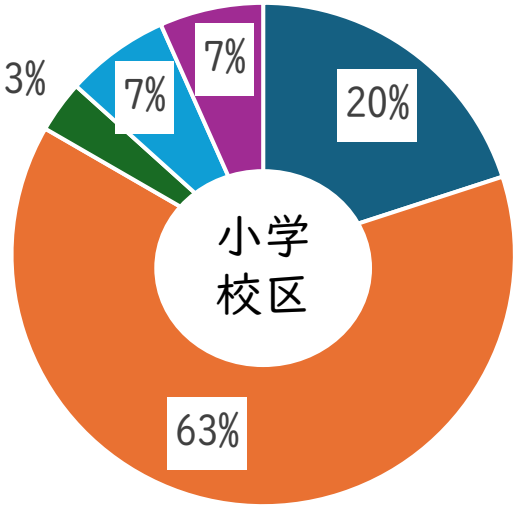
10名

40名が学び、対話を重ねます

参加者の皆さんはどんな方々？





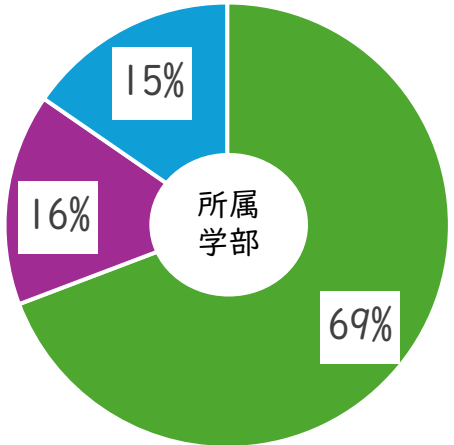


■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代～70歳

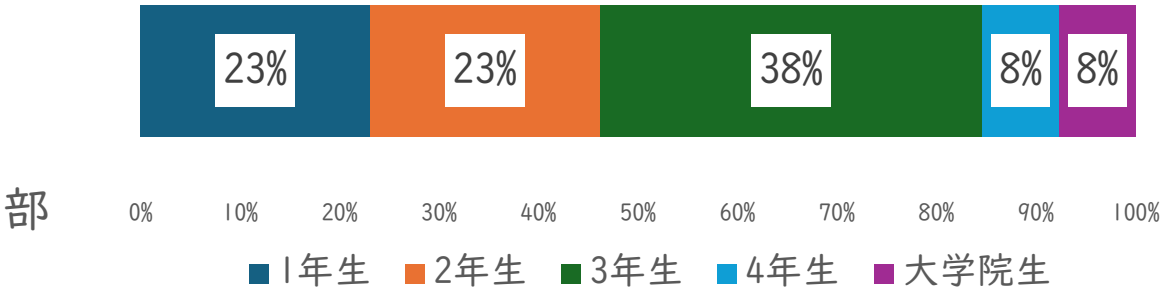
■ 大出 ■ 木下 ■ 中原 ■ 松島
■ 上古田 ■ 北小河内 ■ 南小河内 ■ 福与

■ 北 ■ 中部 ■ 西 ■ 東 ■ 南

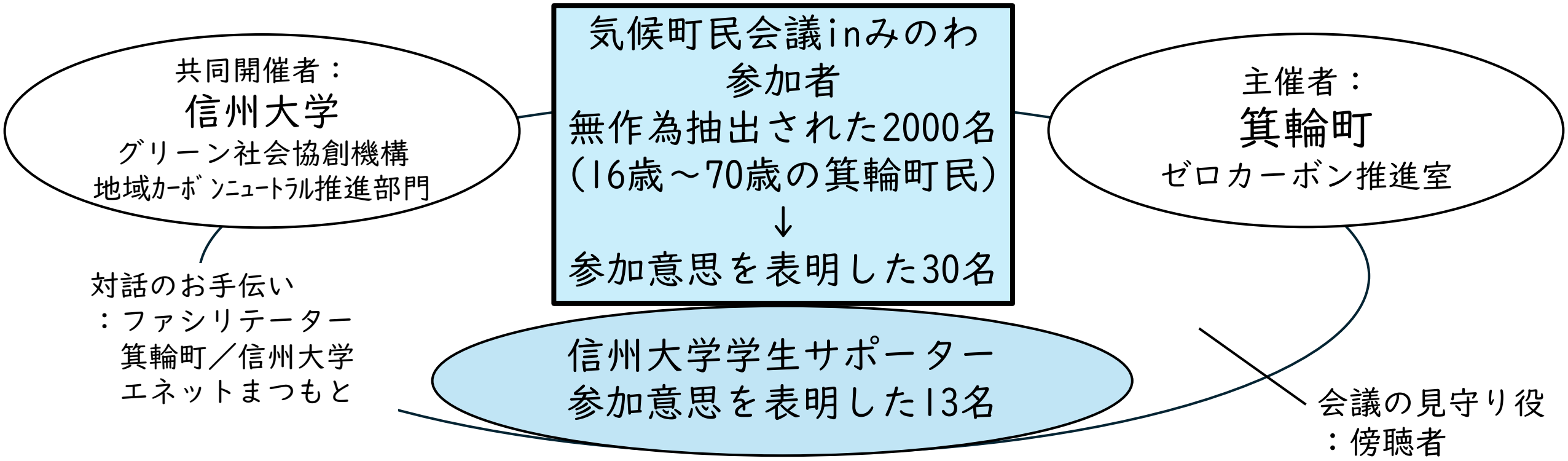
信州大学 学生（全13名が登録、各回10名参加）



■ 農学部
■ 理学部
■ 経法学部



会議の主役は参加者の皆さんです



●情報提供者：
気候科学・気候変動対策に関する専門家、気候変動政策に関わる行政機関、産業界、市民団体等

●学術的助言：
科研費基盤研究(A)「気候民主主義の日本における可能性と課題に関する研究」
（研究代表者：三上直之・名古屋大学大学院教授　研究分担者：茅野恒秀・法政大学教授）